

採択大学：山形大学（強化を図る機能：①、②、③）
参画機関：東北大学、会津大学、福島大学、宮城大学

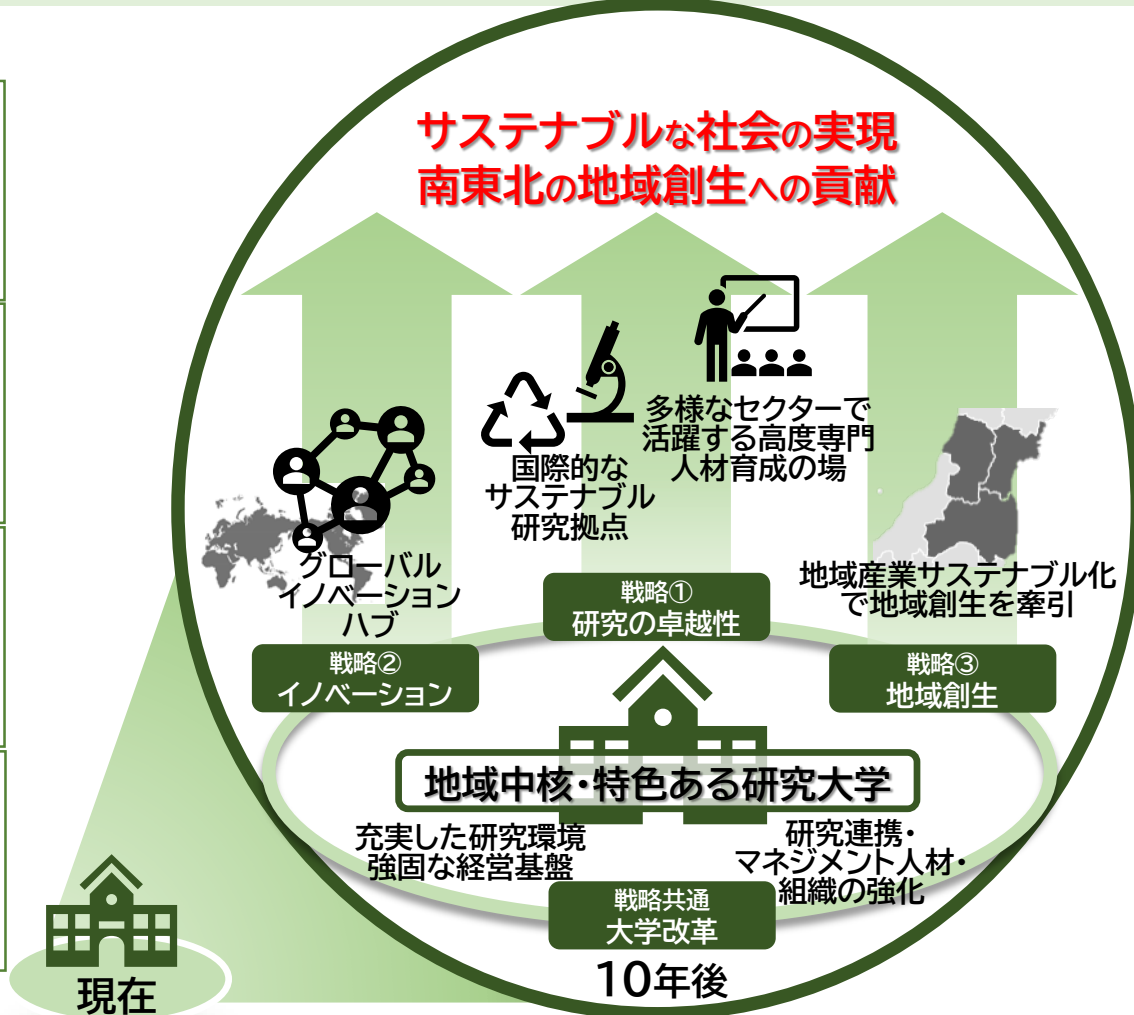
取組内容の概要

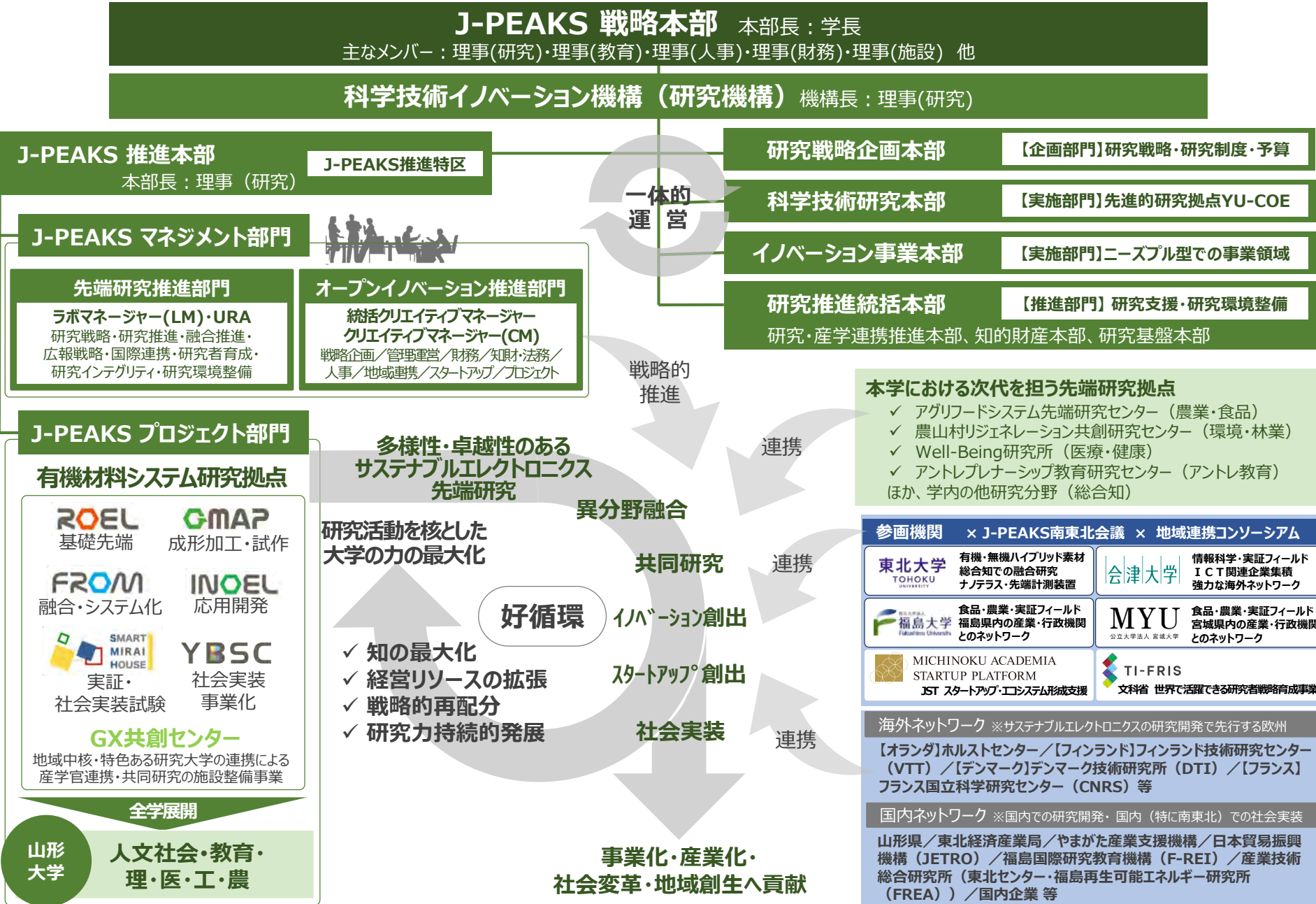
【10年後の大学ビジョン】 地域と共創し、実践的で持続的な革新技术をもたらす研究大学

新たな社会変革を牽引する人材と知を創出し、世界トップレベルの実践的イノベーションによる
未来のサステナブルな社会の実現と南東北の地域創生に貢献

【大学ビジョン実現に向けた戦略・プロセス】

戦略① 研究の多様性・卓越性	本学の強みである有機材料システムをサステナブルエレクトロニクスに進化させる研究成果を創出するとともに、強い研究分野の裾野を拡大して、外部資金獲得増に繋げる ▼卓越研究者獲得・育成・研究環境整備▼URA・専門人材配置▼機器共用化▼異分野融合推進▼外部資金獲得支援
戦略② イノベーション・社会実装	国際的なネットワークハブ機能を強化して、スタートアップ等新しい価値を創造し、それらを社会実装に繋げる実践力ある人材を育成する ▼EUに山形大学サテライトオフィス設置▼スタートアップ支援▼試作品製作強化▼ワンストップ支援センター設置▼知財戦略再構築▼競争的外部資金獲得支援
戦略③ 地域創生	南東北にサステナブル化を波及させ、地域産業の魅力を高めるとともに、地域において活躍する人材を育成して地域創生に貢献する ▼地域連携コンソーシアム設置▼自治体・参画機関と連携しサステナブル意識醸成▼ソーシャルイノベーション人材・DX人材育成
戦略共通 大学改革	研究者の研究時間を確保して研究力の飛躍的な向上と安定した経営基盤を確立し、多様な人材が生き生きと活躍する大学経営を実現する ▼経営改革▼人事改革▼ダイバーシティ推進▼戦略的予算配分▼研究支援・事務改革▼研究時間確保▼若手育成・大学院改革▼ESG（環境・社会・統治への観点）強化





取組内容の時系列イメージ

戦略・プロセス		2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
研究の多様性・卓越性	戦略	有機材料システムをサステナブルエレクトロニクス（S/E）に進化させる研究成果を創出するとともに、強い研究分野の裾野を拡大して、外部資金獲得増に繋げる									
	研究整備・研究DX	実験機器共同利用ポータルサイトを活用した共用化促進				素材・エレクトロニクス・インフォマティクスの融合					
	研究者・研究支援人材	卓越人材獲得・育成、業務管理・研究支援体制整備				卓越人材への支援、国際共同研究の強化					
	学内横展開・異分野融合	異分野交流学会の開催、融合研究への支援				異分野交流・融合領域創出の仕組みを深化					
	アウトプット指標 アウトプットが指標	国際共著論文比率 世界の一線級の研究者との能動的な交流の状況 非競争的・競争的資金獲得額 研究の多様性を生み出すために講じた取組の状況	35% 〈研究成果・定量的〉国や分野を跨いだ異分野融合研究の推進により国際共著論文比率の向上 〈研究成果・定性的〉世界トップクラスの研究者との交流により世界最先端の研究に参画 年1.8億 〈外部資金獲得・定量的〉多様性・卓越性を高めることにより有機材料分野での競争的資金の獲得 〈外部資金獲得・定性的〉学内横展開や参画機関との連携による融合研究の活性化	40% 国際研究ネットワークの構築 年5.4億 融合研究拠点の充実	経営リソースの拡張等 基礎研究力の卓越性を伸長しインナーサークル形成 横展開・分野融合による分厚いイノベーション・シーズ獲得 10年間で1.5倍に 47% 国内外から多様な分野の人材が集う拠点 10年間で4倍に 年7億 総合知活用での多様なS/Eの応用と波及						
イノベーション・社会実装	戦略	国際的なネットワークハブ機能を強化して、スタートアップ等新しい価値を創造し、それらを社会実装に繋げる実践力ある人材を育成する									
	海外ネットワークハブ	海外ネットワーク整備（EUIに山形大学サテライト設置、SNS発信、海外展示）				海外ネットワークの深化、海外企業とのマッチング強化					
	社会実装支援の仕組み	試作品製作ライン整備（学内GAPファンド創設、ワンストップ窓口設置）				試作品製作機能の深化、共同研究を強化					
	アントレプレナーシップ教育	アントレプレナーシップ・イノベーション教育の実施				企業創出のための実践的教育の深化					
	知財活用戦略	知財活用戦略改革・活用の推進				戦略的マネジメントによる社会実装の拡充と増収					
アウトプット指標 アウトプットが指標	試作品アウトリーチ 能動的なニーズ・シーズの探索状況 スタートアップ創出数 ブレイクエレクトロニクス関連 能動的なマッチングの取組状況 国際共同研究件数 海外機関との交流状況	0件 〈新たな価値創造・定量的〉SNS等を活用した世界への発信力の強化による試作品製造アウトリーチの充実 〈新たな価値創造・定性的〉国際的なビジネス振興機関と連携した海外展示会への出展等 1社 〈社会実装・定量的〉戦略的なスタートアップ支援と実践的な人材育成によるスタートアップの創出 〈社会実装・定性的〉INOELを社会実装に向けた試作品製造機能と発信で世界的に展開 5件 〈国際的な活動・定量的〉海外企業等との共同研究実施のための体制整備による国際共同研究の増加 〈国際的な活動・定性的〉サステナブル社会を先導する欧州の企業・研究機関等との連携促進	年50件 国内外での連携強化 4社 ニーズプル型研究開発 年50件 海外NWハブ機能強化	外部資金獲得・自己資金の合理化等 海外ネットワークの機能強化で海外での活動促進 試作品製造やスタートアップ等社会実装力を強化し世界に革新 社会実装に繋げる実践力ある人材を輩出 年100件の世界への発信力 年100件 グローバルオーブイノベーションの推進 10年間で12倍に 12社 イノベーションの社会実装の加速化 10年間で20倍に 年100件 世界的に展開するS/Eのイノベーション拠点							
地域創生	戦略	南東北にサステナブル化を波及させ、地域産業の魅力を高めるとともに、地域において活躍する人材を育成して地域創生に貢献する									
	地域連携コンソーシアム	地域コンソーシアムを立上げ・地域課題の発掘と解決案の提案				地域課題の深堀と解決・情報発信					
	地域のESG×DX人材	地域DXを推進（ESG×Digital経営スクール開設、異分野融合人材NW構築）				地域DX推進を深化					
	地域産業への波及	自治体・産業界と連携したサステナブル意識の醸成				南東北を社会実装・イノベーション実証拠点化					
	ソーシャルイノベーション人材	南東北へのソーシャルイノベーション事業の展開				スタートアップ・新事業展開への貢献					
アウトプット指標 アウトプットが指標	コンソーシアム参加機関数 地域課題解決に向けた博士課程学生育成の取組状況 企画実施プロジェクト 地元企業等への働きかけ、課題の把握、解決への協力状況	0機関 〈地域課題解決・定量的〉地域課題の深堀と解決案への取組、情報発信を関係機関が協働で推進 〈地域課題解決・定性的〉スタートアップ創出支援やアントレプレナーシップ教育の充実 0件 〈経済効果・定量的〉地域産業に起こる変革を高度人材の育成や情報発信、技術移転等を企画実施し先導 〈経済効果・定性的〉参画機関等と連携しS/Eでの南東北における地域課題の解決への貢献	30機関 産業界での活躍促進 13件 参画機関との協働	大学ビジョンの実現 地域創生に資する企業を増やし地域での活躍機会を創出 南東北地域の社会実装・イノベーション実証拠点化の促進 約50機関からなる地域連合体 51機関 博士人材の多様なキャリアパスの構築 10年間で26件のプロジェクト実施 26件 南東北がひとつとなり地域創生へ対応							
大学改革	戦略	研究者の研究時間を確保して研究力の飛躍的な向上と安定した経営基盤を確立し、多様な人材が生き生きと活躍する大学経営を実現する									
	経営改革	研究ガバナンス強化・人事制度改革・研究力向上プラン実施				研究ガバナンス強化、戦略的マネジメントの深化					
	URA等研究支援組織	インセンティブ付与・働き方改革・参画機関と連携した育成支援				研究支援の育成、キャリアパス確保					
	事務業務改革	研究機器共用化・学外利用促進、研究管理DX推進、国際支援人材配置				コアファシリティの深化、事務DXの横展開					
	大学院改革	人材育成プログラム開発、経済的・キャリアパス支援、国際化の推進、社会人受入				大学院改革の深化、世界で活躍する人材育成					
参画機関との連携強化	J-PEAKS南東北会議設置、自治体等との地域連携コンソーシアム設置				南東北地域での課題解決・成果発信を協働						
アウトプット指標 アウトプットが指標	URA人材雇用数 外部資金獲得額（自己収入比率）	15名 勤務形態のフレキシビリティや事務職員や教員の転任・兼任の複線的なキャリアパス等の柔軟な制度 23.23億円（4.91%） イノベーション・社会実装力の強化とESG化に投資し、研究力を向上させ外部資金獲得に繋げるサイクルの循環	30名 38.11億円（7.70%）	各戦略の継続実施 資金の好循環を形成し安定した経営の実現 研究環境を整備し多様な人材が生き生きと活躍 大学院改革で、世界に挑戦する若手人材を育成 参画機関等との連携により南東北にサステナブル化を波及させ地域産業の魅力を高め地域で活躍する人材を育成し地域創生に貢献 5年間で2倍に・10年後も継続 30名 10年間、2倍の獲得額に 52.82億円（10.37%）							